



岐阜市の水道

蛇口をひねれば名水が出てくる？ おいしい理由

岐阜市では水道の水源を、全て長良川の伏流水等の豊富な地下水に求めています。国内の水道水の年間取水量のうち、ダムから取水される水が約48%、河川の水が約25%、岐阜市のような地下水が約23%です。通常、ダムや河川から取水した水は飲み水に適さないため、浄水場を作って沈殿やろ過、そして様々な薬品を使って化学処理を行い、最後に塩素消毒をしています。

一方、岐阜市の水道原水である地下水は、地中を通して自然の力でろ過されるので、原水の段階で極めて良好な水質です。このため、市内に17か所（予備水源除く）ある水源地で地下水をくみ上げ、これに塩素消毒など最低限の処理を施すのみで配水を行っています。

このように、岐阜市では、清流長良川の恵みである、豊富で良質な原水の素晴らしさを損なうことなく安全でおいしい水を届けています。

恵まれた自然を活かし、安全でおいしい水を

岐阜市 水道事業の沿革

長良川畔に発展した岐阜市では、良質で豊富な地下水がそのまま飲み水とされてきましたが、都市化が進むにつれ大正中期頃より水道の必要性が叫ばれるようになりました。昭和初期に水道建設が提案され、長良川の伏流水を水源として旧岐阜市内南部地域に給水する第1期事業に着手し、昭和9年に完成しました。

その後、戦災からの復興や人口の増加、産業の発展等に伴う水需要の増加に対応するため、水源地の建設や配水管網の整備拡充を推進する中、平成17年までに市内32か所の簡易水道を統合し、平成18年には柳津町との合併に伴う水道事業の統合を行いました。

現在は第10期事業を進めています。

データで見ても、水質は折り紙付！

岐阜市は旧厚生省（現在の厚生労働省）「おいしい水研究会」が昭和60年に発表した「水道水のおいしい都市」の32都市に選ばれています。選定から30年以上経った今も、その水質はおいしい水の水準要件を満たしています。

<おいしい水の水質要件>

項目	おいしい水の水質要件	鏡岩水源地	内容
蒸発残留物 (mg/l)	30~200	39	主にミネラルの含有量を示し、量が多いと苦み等が増し、過度に含まれるとまろやかな味がする。
硬度 (mg/l)	10~100	27	ミネラルのなかで量的に多いカルシウム・マグネシウムの含有量を示し、硬度の低い水はくせがなく、高いと好き嫌いが出る。
遊離炭酸 (mg/l)	3~30	3.4	水にさわやかな味を与えるが、多いと刺激が強くなる。
過マンガン酸カリウム消費量 (mg/l)	3以下	0.8	有機物量を示し、多いと洗みをつけ、多量に含むと水の味を損なう。
臭気強度 (度)	3以下	1未満	匂いがつくると不快な感じがする。
残留塩素 (mg/l)	0.4以下	0.3	水にカルキ臭を与え、温度が高いと水の味をますぐる。
水温 (℃)	20以下	12.5	冷やすことによりおいしく飲める。

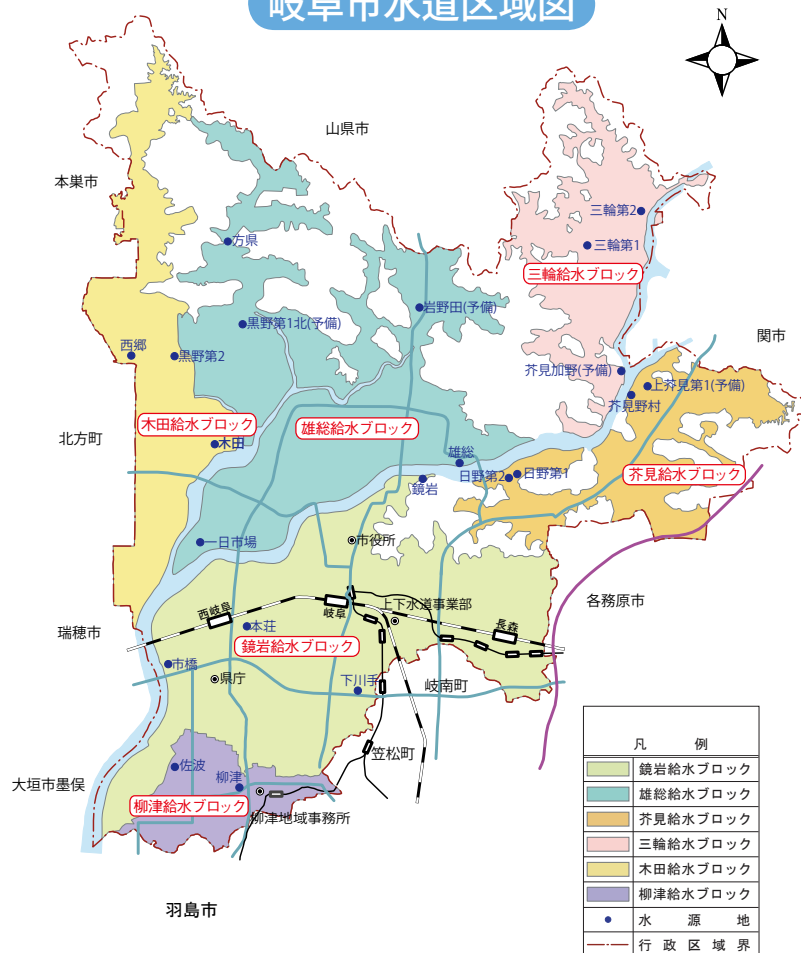
注) 水道水のおいしい都市としては、人口10万人以上で市民の大部分がおいしい水道水を利用できる都市として32都市が選定されました。

注) 水質データは、鏡岩水源地（岐阜市における代表的な給水地点）の検査結果を使用しています。

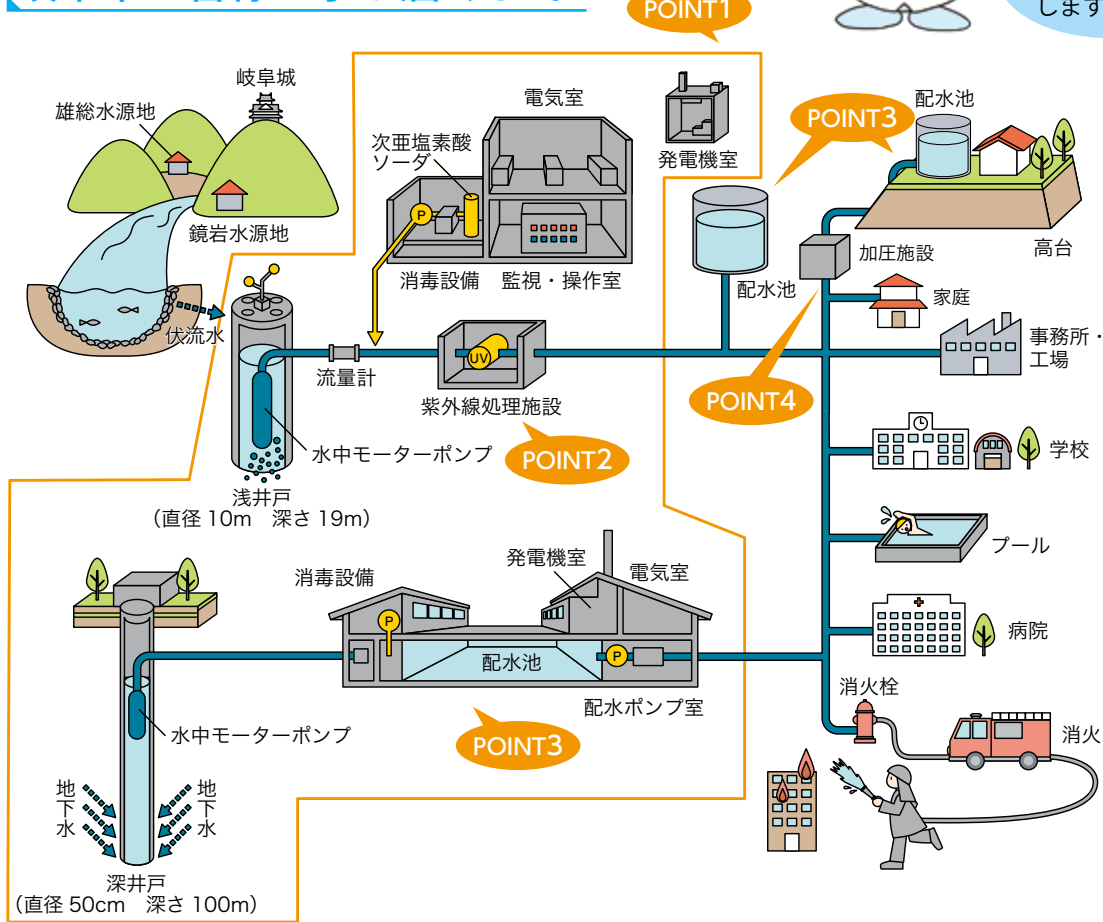
【採水年月日：令和2年4月16日】

お問合せ先 水質管理課 水道検査係 TEL 259-7521

岐阜市水道区域図



岐阜市の皆様に水が届くまで



安全でおいしい水をお届けします。

設備紹介

水源地 → (配水池・加圧施設) → お客様

POINT 1 水源地

伏流水・地下水を汲み上げるとともに、塩素消毒を行う施設です。

POINT 2 紫外線処理施設

地表の影響を受けやすい伏流水を紫外線照射により安全な水に処理する施設です。

POINT 3 配水池

水源地から送られてくる水を一時的に貯めておく施設です。

POINT 4 加圧施設

水源地から遠く離れた地域や標高の高い地域に水を送るための施設です。